

製品名: cGKII ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08722**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	87kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKG2
別名	PRKG2; PRKGR2; cGMP-dependent protein kinase 2; cGK 2; cGK2; cGMP-dependent protein kinase II; cGKII
遺伝子 ID	5593.0
SwissProt ID	Q13237
免疫原	抗血清はヒト PKG2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 92-141

背景

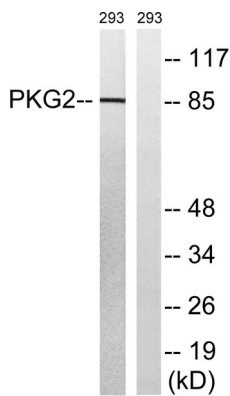
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパ

ク質は、腸管における体液バランスの調節に関与しています。マウスの類似タンパク質は、結腸細胞の分化と増殖を調節していると考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年9月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、酵素調節: cGMP の結合により酵素が活性化されます。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr プロテインキナーゼファミリー。 cGMP サブファミリー。、類似性:AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含む。、類似性:タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。、類似性:環状ヌクレオチド結合ドメインを 2 つ含む。、組織特異性:脳、肺、腸粘膜に高濃度に存在します。、

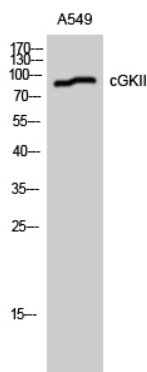
研究分野

ギャップ結合;長期抑制;嗅覚伝達;

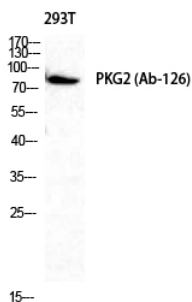
画像データ



PKG2 抗体を用いた、アニソマイシン 25 μ g/ml で 30 分間処理した 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 希釈の cGKII ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 に希釈した cGKII ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析

